

「やさしい日本語」講座

在住外国人向け情報誌「VIVA!ひめじ」や日本語ひろばのボランティアのスキルアップおよび市民へのやさしい日本語の普及を目的に、11月3日（日）と10日（日）の2日間にわたって、やさしい日本語講座を実施しました。2日間で計18名が受講しました。

1日目は、神戸YWCA学院日本語講座養成コースコーディネーターの福井武司先生にやさしい日本語の基礎と会話の仕方について講義を行っていただきました。前半は、ジェスチャーや表情、写真などの非言語コミュニケーションの重要性について説明がありました。また、丁寧語やカタカナ語、擬音語・擬態語などは、伝わりにくいため、避けた方がよいことを学習しました。後半は、現在日本語を学習中の外国人と話す実践練習を行いました。会話をする中で、外国人の日本に関する知識に応じて使う単語や表現を変えなければならないこと、ゆっくり話せばいいわけではなく、文節で区切って話すことと伝わりやすいことを学びました。

2日目は、神戸大学名誉教授の水野マリ子先生にやさしい日本語の文章の書き方について講義を行っていただきました。1つの文章には1つの情報にしたり、箇条書きやイラストなどの視覚情報を用いたり、受け身や使役表現、あいまいな表現を避けたりすることなど、具体的な書き方について説明がありました。また、講座の後半は、「VIVA!ひめじ」の日本語の原稿をやさしい日本語に変える演習を行いました。その後、各グループの文章を全員で共有し、講師に添削していただきました。

2日間の講座を通して、やさしい日本語には、正解はなく、相手の文化背景に応じて伝わりやすい表現が変わることを学びました。受講生には、講座で学んだ知識を今後のボランティア活動や日常生活に活かしていただきたいと思います。

なお、今回の講座で作成した「VIVA!ひめじ」やさしい日本語版は、12月下旬に発行予定です。当財団のHPで閲覧可能です。ぜひご覧ください。

